令和６年度第１回厚木市環境審議会会議録

〔会議主管課〕環境農政部環境政策課

〔日　　　時〕令和６年５月15日（水）14時から15時30分まで

〔場　　　所〕厚木市役所第二庁舎16階会議室ＡＢ

〔出　席　者〕厚木市環境審議会委員　16人

　　　　　　環境農政部長、循環型社会推進担当部長、環境政策課長、

生活環境課長、ごみ減量化・資源化担当課長、農業政策課長、

農林・鳥獣対策担当課長、都市農業支援担当課長、

環境政策課環境政策係長、環境政策課カーボンニュートラル推進係長ほか事務局1人

１　令和６年度第１回厚木市環境審議会

（１） 開会

　（２）事務局紹介

（３） 案件

ア　みんなの生物多様性～生物多様性あつぎ戦略2024－2030～（資料１）

イ　厚木市廃棄物減量等推進審議会について（資料２）

２　その他

３　閉会

|  |  |
| --- | --- |
| 海老澤会長  小宮係長  海老澤会長  小宮係長  海老澤会長  青砥委員  小宮係長  青砥委員  小宮係長  窪田委員  小宮係長  船本委員  小宮係長  青砥委員  小宮係長  青砥委員  小宮係長  海老澤会長  小宮係長  海老澤会長  梅澤課長  海老澤会長  小宮係長  山崎係長  小宮係長  菅委員  小宮係長  山下課長  新谷委員  山下課長  窪田委員  山下課長  小宮係長  藤田委員  小宮係長  船本委員  菅委員  小宮係長 | それでは、案件ア「みんなの生物多様性～生物多様性あつぎ戦略2024-2030～」について、事務局の説明をお願いします。  　《資料に基づき、小宮係長 説明》  ありがとうございました。  今の説明に対して、皆様から御意見、御質問等ありましたら、お願いします。  今年度実施される調査というのは、どのような形で実施されるのでしょうか。  調査は、大きく分けて二つあります。 一つは、アプリを活用した市民参加型の調査です。現在、予定しているアプリは、バイオームといい、写真で撮った生き物の種類をAIが判定します。このアプリを活用して、市内で撮影してほしい生き物を設定し、厚木市版のクエストとして実施します。撮影した生き物と位置情報は、データとして集積できるため、生き物の生息状況を知ることができます。  二つ目は、あつぎこどもの森公園で実施する動植物モニタリング調整です。こちらは、あつぎこどもの森公園において専門家によるモニタリング調査を実施し、地域の生物多様性の状況を把握するものです。 毎年、生き物の生息状況を把握することで、生物多様性の保全・回復の傾向を計るための調査となります。  今年度は鳥類を調査し、来年度以降は、昆虫、両生類、植物と種ごとに毎年実施し、何年かで１周するサイクルで実施したいと考えています。  ありがとうございます。  以前、スマ報では、アクセス数が少なくデータの集まりが悪かったと聞いていますが、今回はどのような工夫をして周知していくのでしょうか。    市民生き物調査では、一番興味を示してもらえるのは、小・中学生と考えています。そのため、クエストの実施期間については夏休み期間中を含み、生き物が活発的に活動する８月から10月に設定しています。このことを児童や生徒に知ってもらうため、チラシを各学校に配布して進めていきたいと考えています。  また、ホームページや広報紙のほか、公民館等でのチラシ、ポスター等の掲示により、大人も含め、より多くの方に参加していただきたいと考えています。  参加することによるメリットや頑張っているという気持ちになれるような工夫がある良いと思います。  ８月までまだ時間がありますので、工夫していきたいと思います。  バイオームのカスタマイズのライセンス費用などは、どれくらいの予算が組まれていますか。  約240万円です。  集計したデータは公開されますでしょうか。  データがどのような形になるのかは、業者に確認していきますが、なるべく公開する方向で考えています。  戦略の51ページ「重要な生息生育場所の確保」で、こどもの森公園が挙げられていますが、この範囲を広げていく考えはありますか。  課内での検討段階では、今後、里地里山や東京農業大学などにも御協力いただければと考えています。  そのほかにも厚木には、ゴルフ場や相模川、大山など豊かな自然を持つ場所が沢山ありますので、それらも視野に入れてほしいと思います。  ゴルフ場に関しては盲点でしたので、 検討していきたいと思います。大山や相模川などについては、県、国の所管とも重なるところもありますので、関係機関と連携していきたいと思います。  ネイチャーポジティブ宣言とは、他の自治体と比べて画期的なものなのでしょうか。  全国では9番目、県内では初めての発出となります。  現在、カーボンニュートラルへの取組は、全国の自治体どこも一生懸命取り組んでいますが、 この生物多様性に関しましても同じぐらい大切な問題だと思いますので、このような取組は、これから全国の自治体に広がっていくのではないかと思います。  是非、アピールしていただきたいと思います。  ほかに御意見、御質問ありますでしょうか。  それでは、 案件イに移りたいと思います。案件イ「厚木市廃棄物減量等推進審議会について」事務局から説明をお願いします。  　《資料に基づき、梅澤課長 説明》  ありがとうございました。  ただ今の説明について御意見、御質問ありますでしょうか。  ないようでしたら、本日予定していた案件は全て終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。  それでは、次第の2その他についてですが、 今年度の環境農政部の新たな主要事業につきまして、各課から御報告します。  最初に環境政策課から御説明します。  《資料に基づき、山崎係長 説明》  委員の皆様から御質問、御意見等ありましたらお願いします。  アクションプランのチラシを見て、生物多様性も1枚のポスターのようなものがあるとより分かりやすくなると思います。  御意見ありがとうございます。検討したいと思います。ほかに御質問、御意見等ありましたらお願いします。  では、続きまして農業政策課から御説明します。  《資料に基づき、山下課長 説明》  木質化は、カーボンニュートラルに直接的に結びつきますし、普及啓発としても意味があると思います。地域産の木材の利用拡大と記載されておりますが、是非厚木市産材、神奈川県産材という地域の木材を利用していただきたいと思います。  また、小学校だけでなく、公民館なども進めていただきたいと思います。  ありがとうございます。木材は、地産地消という考え方がありますので、厚木産の木材を使うことを原則としています。  また、各地区の公民館につきましても、この目標を展開していきたいと考えていますので、今年度も予算化して進めていきたいと考えています。  木質化はカーボンニュートラルの取組ということで、どの程度貢献できるのでしょうか。また、間伐材はどのくらい使うのでしょうか。  間伐材の量は、1校当たり30㎥程度と言われています。また、間伐材がどれぐらい出ているかという話になりますと、厚木市では搬出促進を図っており、年間2000㎥程度搬出している状況です。  カーボンニュートラルの取組としては、指標として数値化するのが難しいですが、二酸化炭素の固定という考え方ですと、７トン程度となります。1世帯当たり４トン程度と言われていますので、２世帯分の1年間の二酸化炭素の排出量が固定されるということになります。  ほかに御質問、御意見等はありますでしょうか。  それでは、委員の皆様方から御質問、連絡事項等がありましたらお願いします。  戦略の用語解説に掲載されているアスタリスクの用語が、本文の何ページに掲載されているかを示すと、理解しやすくなると思います。  御意見ありがとうございます。  13ページの植物ですが、ウグイスカズラではなく、ウグイスカグラだと思います。  17ページの文章が途中で切れてしまっています。  失礼しました。後ほど修正します。  ほかになければ、以上をもちまして、令和６年度第１回厚木市環境審議会を終了します。 |